

ゆっくり歩けんもんやろか

三月十六日 月曜日 ゆっくり歩けんもんやろか

目覚め、午前一時。
社会の勉強を始める。

社会は、常日頃、最も、僕がよくさぼる
二大科目（化学と社会）の一つである。

もう、今から、一ページ、一ページに、念を入れていたら、
三十ページもあるので、六時迄に出来っこない。

眠たくならないように、声を張り上げて本を読む。

個室だから、出来ること。
兄貴も隣りにいないから、出来る。

声を聞いたら、近所の人も、家の人も、
多分、僕が気が狂ったとでも、思うだろうなあ。

僕は、案外、そう言う他人の目を気にしない。

やはり、ちょっと、おかしいのかな。
異常なのかな。

しかし、疲れるが、声を出して、読むと眠くならない。
昔、儒教や、仏門でも、書物やお経を、声を張り上げて読む。

腹に力が入り、腹がへるが、まあいい。
食べると眠くなるので、これは困る。
がまん、がまん。